

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	加古川東市民病院跡地整備事業(複合施設棟)	階数	地上2F
建設地	兵庫県加古川市平岡町一色字三ツ池797番地の295 他	構造	S造
用途地域	第2種中高層住居専用地域、指定なし、法22条地域、高度地域	平均居住人員	550 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,200 時間/年(想定値)
建物用途	学校,集会所,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年12月 予定	評価の実施日	2020年10月20日
敷地面積	11,296 m ²	作成者	清野
建築面積	2,396 m ²	確認日	2020年10月20日
延床面積	2,566 m ²	確認者	野崎



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.5

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項

総合	その他
地域の周辺環境への配慮を考え、機能的で安心、安全な建物となるように努めた。 また敷地内には緑地を多く設け、高い緑地率を確保した。 地域に開放された公共的施設を設け地域の活動や賑わいに貢献できる建物となるよう努めた。	0
Q1 室内環境 敷地全域が禁煙であり、非喫煙者が煙に曝されないように配慮	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内には緑地を多く設け、外壁などは自然系素材を使用し周辺環境に配慮した。
LR1 エネルギー 建築物の外皮の熱負荷係数の抑制に努めた。	LR3 敷地外環境 公害対策ガイドラインの過半数の項目を満たしている。 屋外広告等を配置していない。
Q2 サービス性能 機能性・快適性を重視し、安全で使いやすい建物とした。	LR2 資源・マテリアル 部材の再利用可能向上への取り組みや、持続可能な森林から産出された木材をしようする等配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される